

地下鉄仙台駅 東改札外 JR連絡口 エスカレーター手すり広告

エスカレーターマナー 啓発協賛企画

2022.6.29

UD エスカレーター
ESCALATOR

協賛企画概要

目的：エスカレーター事故の継続的な注意喚起および事故防止

継続的なマナー啓発、転倒事故防止のために「UDベルト」を導入いたします。

JR仙台駅から地下鉄仙台駅を繋ぐ通路に在するエスカレーター2基を対象に協賛企業様の募集開始。

本協賛企画の実施によって、多くの方にエスカレーターマナーが認知され、仙台市全体のエスカレーターマナーアップに繋がると共に、仙台市から日本全国にこのような活動が広がることを目指しております。

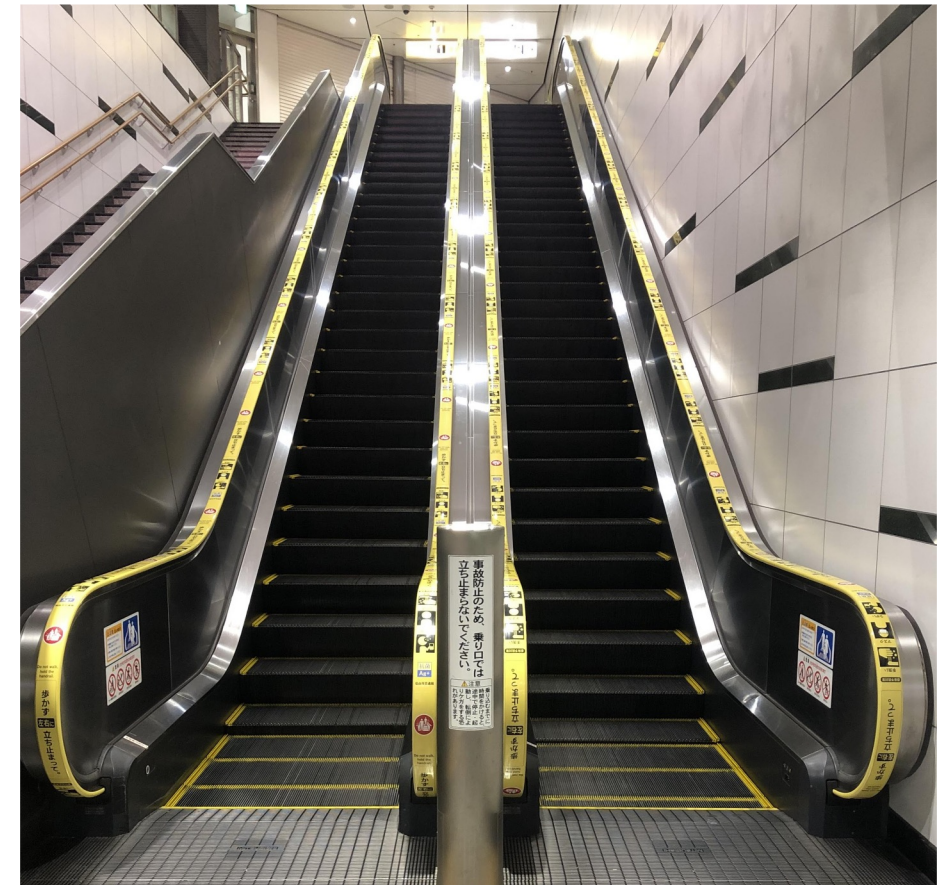
ご協賛金については、ベルト施工に用いる特殊フィルム出力、現場での施工、メンテナンス費用等に充当させていただきます。

設置場所	仙台市地下鉄仙台駅 東改札外エスカレーター上下2基
協賛内容	エスカレーターの転倒事故防止、エスカレーター利用の注意喚起
協賛期間	6ヶ月間
協賛金額	料金表をご参照ください
注意点	エスカレーターの特性上、稼働による擦り傷や汚れなどがラッピングに発生します。日常の清掃業務で概ね除去されますが、予めご了承ください。
協賛不可	消費者金融、公営ギャンブル・パチンコ、葬祭業。その他「仙台市交通局広告掲出審査基準」に準じます。
決定方法	先着決定優先

掲出エスカレーターのロケーションポイント

目的：エスカレーター事故の継続的な注意喚起および事故防止

- ・年間利用者2,310万人（令和2年度実績）の地下鉄仙台駅
- ・改札前エスカレーターの手すりにUDベルトを設置
改札の外にあるため、JR利用の通勤通学者も利用
- ・啓発メッセージと協賛企業名を6ヶ月間にわたり掲載
- ・手すりにつかまる乗降者に30秒間メッセージが伝わる
- ・CSRやSDGsの一環として活用
- ・協賛枠は応募者数に応じて対応、協賛金は約50万円／月



「歩かずに立ち止まろう」キャンペーンに合わせて手すりベルトで啓発

毎年10月に鉄道各社が横断してエスカレーターの安全な利用を促す啓発活動を実施しています

2021年9月21日

エスカレーター「歩かず立ち止まろう」キャンペーンを10月1日（金）から実施します。

エスカレーター「歩かず立ち止まろう」キャンペーンの実施について

お客さまにエスカレーターを安全にご利用いただくために、2021年10月1日（金）から、全国の鉄道事業者51社局・4団体や空港施設、商業施設、自治体と共同で、エスカレーターの安全利用を呼びかけるキャンペーンを実施します。

お客さまがエスカレーターをご利用になる際に、ご自身でバランスを崩して転倒されたり、駆け上がりたり駆け下りたりする際に他のお客さまと衝突し転倒させたりするなどの事象が発生しています。また、エスカレーターで歩行用に片側をあける習慣は、左右いずれかの手すりにしかつかまることができないお客さまにとって危険な事故につながる場合もあります。全てのお客さまが安心してエスカレーターを利用できるよう、「歩かずに立ち止まろう」「手すりにつかまろう」などの呼びかけを、下記の通り実施します。

記

- 1 キャンペーン期間 2021年10月1日（金）～10月31日（日）
- 2 キャンペーン内容 ポスターの掲出（【別紙】参照）、ディスプレイ広告の掲載
※キャンペーン内容については、各社で異なります

3 共催事業者

北海道旅客鉄道株式会社	千葉都市モノレール株式会社	仙台市交通局
東日本旅客鉄道株式会社	首都圏新都市鉄道株式会社	東京都交通局
東海旅客鉄道株式会社	埼玉高速鉄道株式会社	横浜市交通局
西日本旅客鉄道株式会社	埼玉新都市交通株式会社	名古屋市交通局
四国旅客鉄道株式会社	横浜高速鉄道株式会社	京都市交通局
九州旅客鉄道株式会社	名古屋鉄道株式会社	神戸市交通局
東武鉄道株式会社	名古屋臨海高速鉄道株式会社	福岡市交通局
西武鉄道株式会社	阪神電気鉄道株式会社	日本空港ビルデング株式会社
京成電鉄株式会社	阪急電鉄株式会社	成田国際空港株式会社
京王電鉄株式会社	京阪電気鉄道株式会社	森ビル株式会社
小田急電鉄株式会社	近畿日本鉄道株式会社	札幌駅総合開発株式会社
東急電鉄株式会社	南海電気鉄道株式会社	一般社団法人日本民営鉄道協会
京浜急行電鉄株式会社	京北高速鉄道株式会社	一般社団法人日本地下鉄協会
東京地下鉄株式会社	北大阪急行電鉄株式会社	公益社団法人東京都理化学協会
相模鉄道株式会社	大阪モノレール株式会社	埼玉県
新京成電鉄株式会社	能勢電鉄株式会社	神奈川県
北総鉄道株式会社	神戸電鉄株式会社	福井県
東葉高速鉄道株式会社	山陽電気鉄道株式会社	さいたま市
東京臨海高速鉄道株式会社	大阪市高速電気軌道株式会社	千葉県
株式会社ゆりかもめ	神戸新交通株式会社	横濱市
東京モノレール株式会社	西日本鉄道株式会社	川崎市
多摩都市モノレール株式会社	札幌市交通局	相模原市

4 後援 国土交通省、消費者庁

以上

仙台市も
参加しています

【別紙】



埼玉県がエスカレーターの安全な利用に関する条例を策定

県、県民および関係事業者、エスカレーターの利用者および管理者の責務を定めています

埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例

(目的)

第一条 この条例は、エスカレーター（動く歩道を含む。以下同じ。）の安全な利用の促進に関し、県、県民及び関係事業者の責務を明らかにするとともに、エスカレーターの利用及び管理に関し必要な事項を定めることにより、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的とする。

(県の責務)

第二条 県は、県民、関係事業者及び関係地方公共団体との相互の連携及び協力の下に、エスカレーターの安全な利用の促進に関する総合的な施策を策定し、及び実施するものとする。

(県民の責務)

第三条 県民は、エスカレーターの安全な利用に関する理解を深め、エスカレーターの安全な利用に関する取組を自主的かつ積極的に行うよう努めなければならない。

2 県民は、県及び関係事業者が実施するエスカレーターの安全な利用の促進に関する施策及び取組に協力するよう努めなければならない。

(関係事業者の責務)

第四条 関係事業者は、エスカレーターの安全な利用に関する理解を深め、エスカレーターの安全な利用の促進に関する取組を自主的かつ積極的に行うよう努めなければならない。

2 関係事業者は、県が実施するエスカレーターの安全な利用の促進に関する施策に協力するよう努めなければならない。

(利用者の責務)

第五条 エスカレーターを利用する者（次条において「利用者」という。）は、立ち止まった状態でエスカレーターを利用しなければならない。

(管理者の責務)

第六条 エスカレーターを管理する者（次条において「管理者」という。）は、その利用者に対し、立ち止まった状態でエスカレーターを利用すべきことを周知しなければならない。

(管理者に対する指導等)

第七条 知事は、エスカレーターの安全な利用の促進のために必要であると認めるときは、管理者に対し、前条に規定する周知に関し必要な指導、助言及び勧告をすることができる。

利用者の義務（第5条）

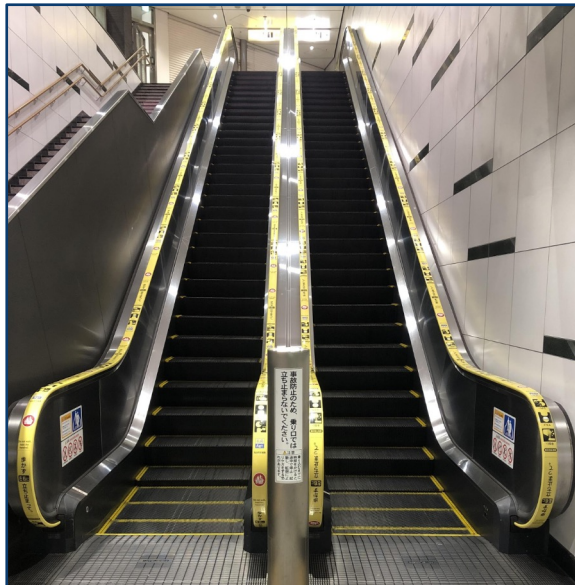
立ち止まった状態でエスカレーターを利用しなければならない。

管理者の義務（第6条）

利用者に対し、立ち止まった状態でエスカレーターを利用すべきことを周知しなければならない。

手すりのデザイン構成と協賛金額

仙台市交通局の啓発メッセージと企業の協賛が交互に掲出されます



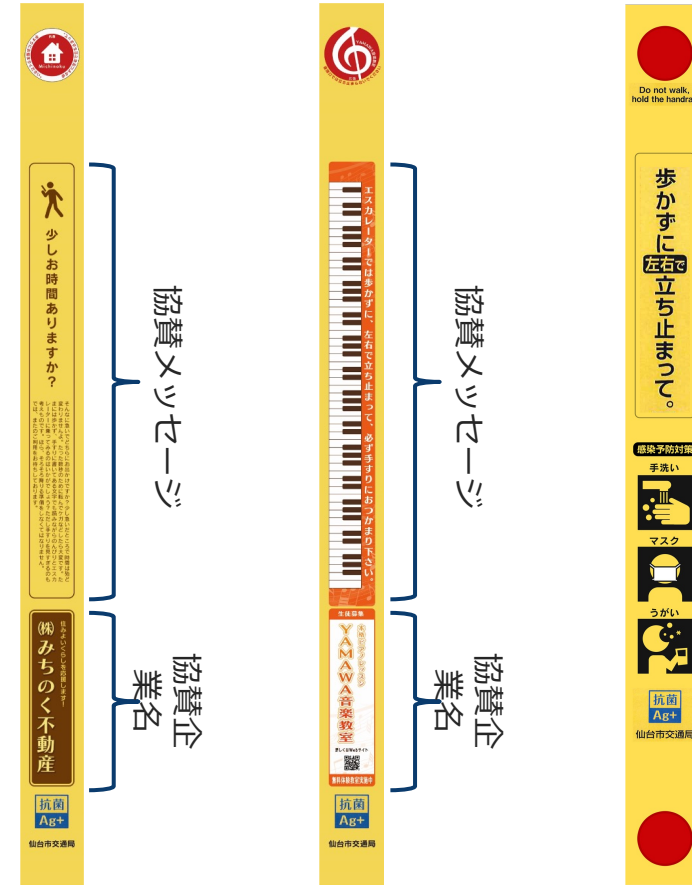
- 協賛企業 1社独占
- 掲載枠数 60枠
- 掲載基数 2基
- 協賛金額 6ヶ月¥3,060,000 (1ヶ月あたり¥510,000)

- 協賛企業 2社
- 掲載枠数 30枠
- 掲載基数 1基
- 協賛金額 6ヶ月¥1,620,000 (1ヶ月あたり¥270,000)

デザインイメージ

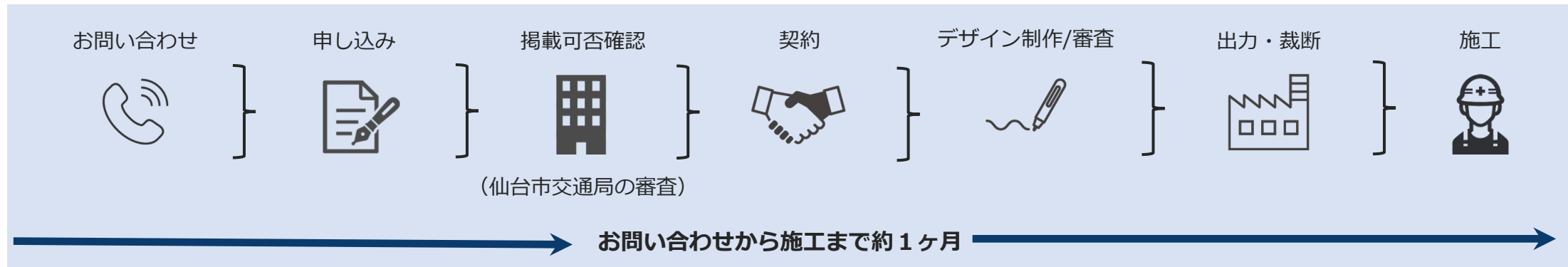
協賛企業名と協賛メッセージを掲出することが可能です

前回施工時：仙台市交通局 エスカレーターマナーアップ+コロナ感染対策



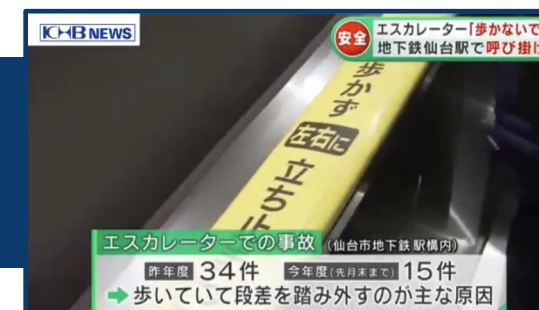
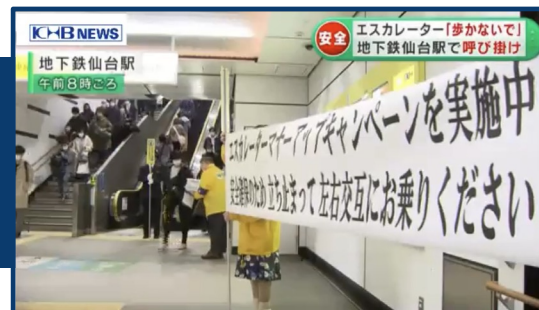
デザイン制作から施工までのプロセス

ロゴなどの素材を手配いただければ、当社にてデザイン制作から施工完了まで対応いたします



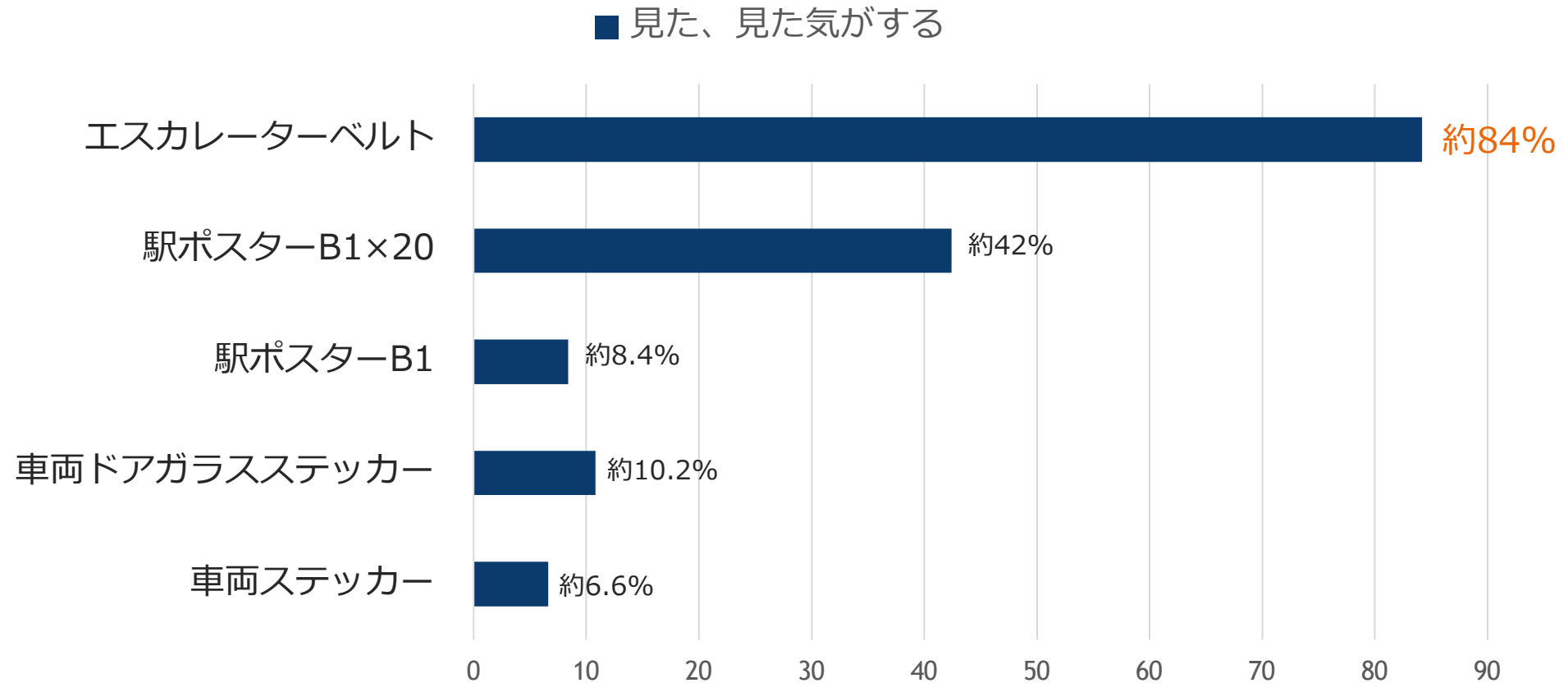
前回施工時にはマスコミ各局が取材に訪れ大反響でした

エスカレーター利用者以外にも認知される好事例となりました



駅構内の媒体においても圧倒的な認知率

約30秒の間に1メートル以内の距離で目に触れる媒体がゆえの効果

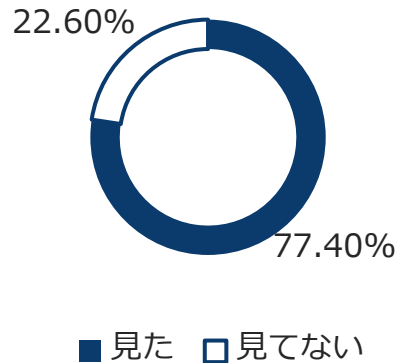


エスカレーター手すりの優位性

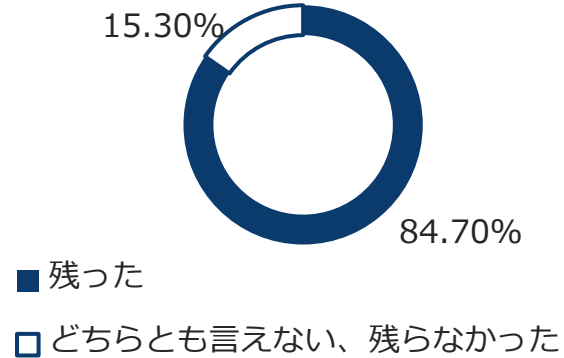
認知だけでなく印象に残る効果も確認されています

広告認知率 77.4%

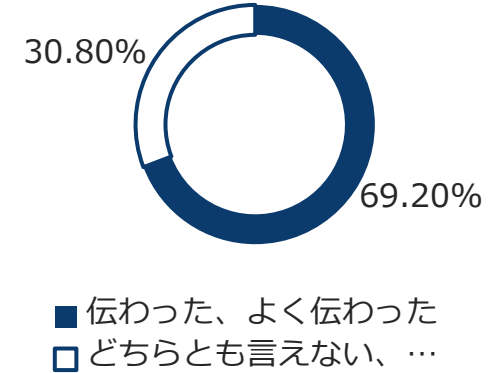
手すり広告の内容は見ましたか？



手すり広告は印象に残りましたか？



手すり広告の内容は伝わりましたか？



伊勢丹/立川店 1001名に対するアンケート調査

ゆうどうマークの事故防止効果

実証実験等による調査で確かな効果を確認しています

エスカレーター事故の現状

地下鉄仙台駅構内のエスカレーター事故34件/2019年歩いていて段差を踏み外すのが主な原因になっております。

東京都内年間約1400人が緊急搬送

高齢者の事故が65%を占め、転倒事故が主な原因となっております。

ゆうどうマーク

- 遠距離から進行方向を把握
レールの動きに合わせ、バリアフリーマークが移動するため、上下進行方向の識別がしやすいのが特徴です。
- スピード感を把握
マークで移動スピードが視認できるため、乗降のタイミングがとりやすく、事故防止に繋がります。
- 視線が進行方向にロック
マークが自然と視線誘導を行い、利用者の視線を進行方向に固定します。それによって乗降時の事故を防ぎます。

西日本駅で6年間の追跡調査結果
エスカレーターの転倒事故

78% 削減

東京都内の主要駅での調査結果

手すり掴み率
33% 増加

歩行率
46% 減少

本企画に協賛することでSDGsの取り組みの1つになります

企業のCSR活動のしてもアピールしていただけます



達成目標3-6

3 すべての人に健康と福祉を



2020年までに、**交通事故による死亡やけがを半分**にまで減らす。

エスカレーターの事故によって、東京都内だけで年間約1400人が緊急搬送されています。生活導線上に設置され、日々多くの人が利用し、誰にとっても身近な乗り物であるにもかかわらず、適切な事故対策は施されていません。UDベルトの効果で、一件でもエスカレーター事故を減少させるために取り組みを広げていきます。

達成目標11-7

11 住み続けられるまちづくりを



2030年までに、特に女性や子ども、お年寄りや障がいのある人などをふくめて、だれもが、**安全で使いやすい緑地や公共の場所**を使えるようにする。

高齢者や弱視者など、エスカレーターの利用に不安を感じている人は多く存在します。しかし、エスカレーターは設置された場所によって環境が大きく変わってしまうため、バリアフリー格差が発生しやすい乗り物です。手すりを活用したバリアフリー対策であれば、全ての場所に適応でき、また広告と組み合わせることで施設側の負担をなくしたサステナブルな対策が可能になります。

問い合わせ先

お気軽にご連絡ください



電話番号

03-5315-0995

メールアドレス

ad@udescalator.com

住所

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-1-7 コスモ新宿御苑ビル 7階